

2024年12月期 中間決算  
決算補足説明資料

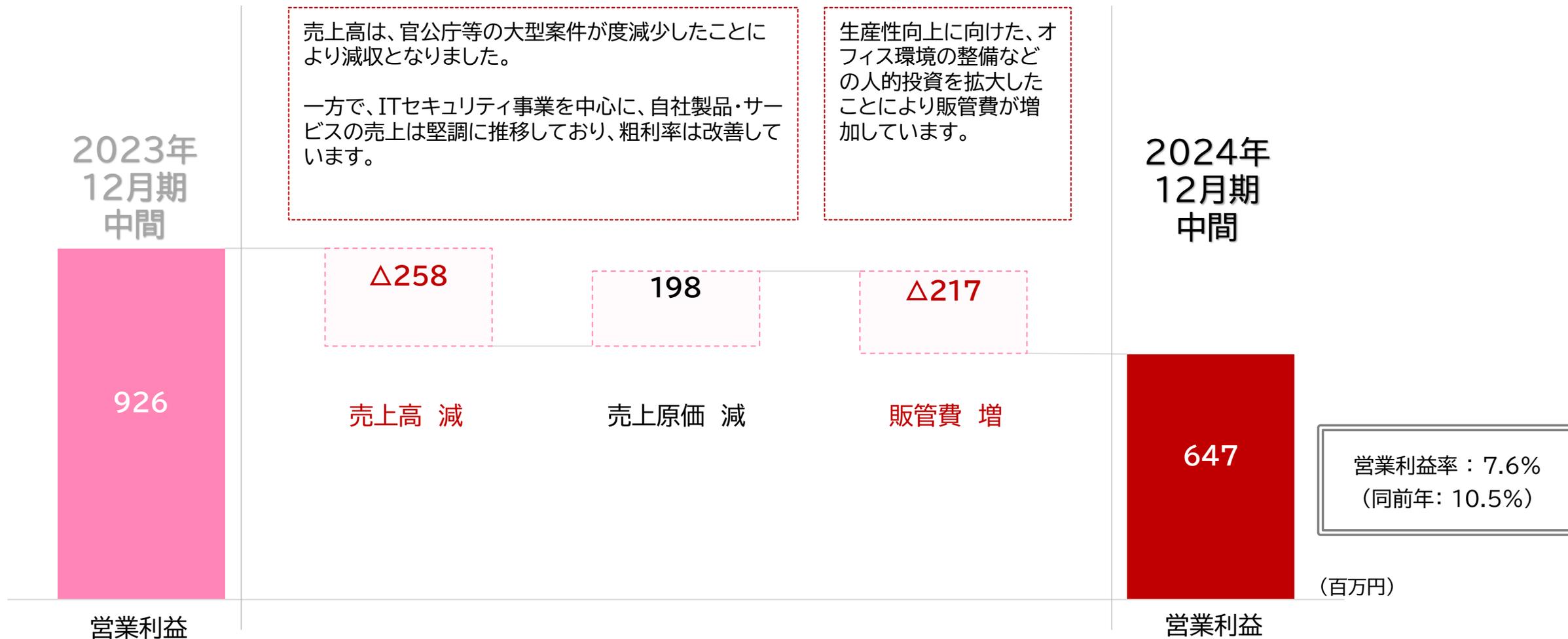
株式会社ソリトンシステムズ  
2024年8月9日

# 連結決算ハイライト（前年同期比・中間決算）

- 売上高は、前年のEco新規事業の官公庁からの案件等が減少したため、8,542百万円(前年同期比2.9%減)となりました。当社は、社員の生産性をあげるためのオフィス環境整備に170百万円の設備投資(内訳:販売管理費の増加50百万円、固定資産の取得120百万円)を行っております。そのため、営業利益は647百万円(前年同期比30.1%減)となりました。なお、経常利益は為替差益185百万円等により833百万円(前年同期比23.7%減)となり、親会社株主に帰属する四半期純利益は585百万円(前年同期19.7%減)となりました。

科目	23年12月期 中間 実績	24年12月期 中間 実績	前年比	
			増減額	増減率
売上高	8,800	8,542	△258	-2.9%
営業利益	926	647	△278	-30.1%
営業利益率%	10.5%	7.6%	-2.9p	-
経常利益	1,091	833	△258	-23.7%
経常利益率%	12.4%	9.8%	-2.6p	-
親会社株主に帰属する中間純利益	729	585	△143	-19.7%

# 営業利益の増減要因（前年同期比・中間決算）

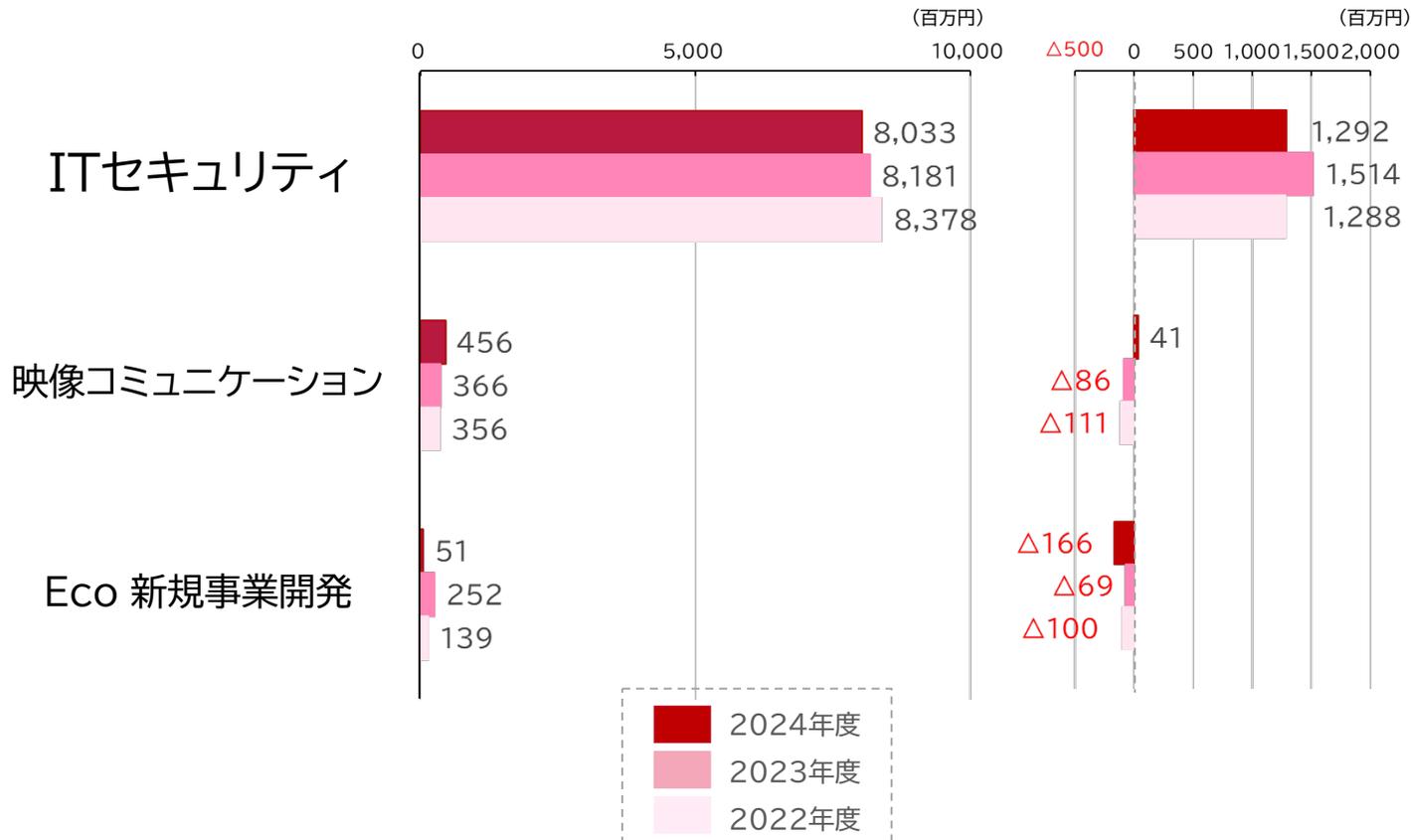


# セグメント別業績（中間決算）

## 売上高

## セグメント利益・損失

## 概況



- 前年同期の粗利率が高い自社製品による官公庁向け大型案件がなくなり、セグメント利益は減益となりました。

- 映像送信系「Smart-telecaster シリーズ」の国内外のパブリックセーフティ分野への販売により、売上高は増収、セグメント利益を計上しました。

- 主に既存の人感センサーのみの販売だったため、売上高は減収、アナログエッジAIの開発費等で前年同期と比較しセグメント損失は拡大しました。

# 追加資料

## 各事業セグメントの取り組み

- ITセキュリティ事業
- 映像コミュニケーション事業
- Eco新規事業開発

## 事業トピックス（中間決算）

- 昨年度に集中した政府系大型案件の剥落した分、上半期は売上が減少しました。一方、次の観点から、持続的な成長を見込んでいます。

### 【製品の観点】 主力製品の『NetAttest』と次期主力製品の『Soliton OneGate』の売上が好調

- 『NetAttest』は、戦略的な価格改定と対応プラットフォームを拡大した結果、上半期で前年同期比で売上高が+8%伸長。
- 『Soliton OneGate』は、前年比で200%の成長を維持。さらに5月に国産IDaaSで唯一のISMAP認証を取得し、商品の優位性が向上。

### 【営業・体制】 業種や地域に特化した営業体制を強化し、案件が増加中

- 民需事業開発(BD)組織を新設。業種に特化した販売シナリオを社内およびパートナー様に展開。
- サイバーセキュリティ対策の提案力を強化し、パートナーリングも含めカバレッジを増強。特に金融や医療、重要インフラ業種を中心に売上が増加している。
- 手薄であった中国・四国の営業体制を強化。自治体案件を中心に前年同期比で2桁増のペースで案件が増加している。

# ITセキュリティ事業における主力製品

## NetAttest

- 18年連続シェア1位継続中  
2023年に累計出荷数3万台突破
- 証明書のインストールの工数削減による、さらなる使い勝手の向上
- クラウド対応版リリースと戦略的価格設定等、プロモーションの強化

ユーザー操作不要で証明書取得

RADIUS  
サーバー  
国内シェア  
No.1

国内  
開発

豊富な  
連携実績  
無線・有線LAN  
VPN機器

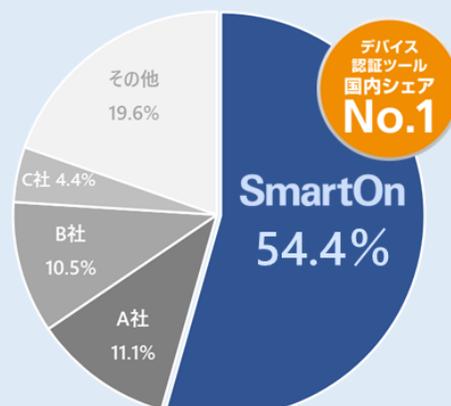


※ 出展「2023 コミュニケーションマーケティング調査総覧 RADIUSサーバ」富士キメラ総研

## SmartOn

- 19年連続シェア1位継続中  
累計約4,500社、350万ライセンス
- 各業界のMFA普及により好調、特に医療現場やコールセンター等、顧客情報を扱う業界での実績増加
- Panasonic Connect社など、大手企業様とのアライアンスの拡大

圧倒的な実績と好評な顔認証

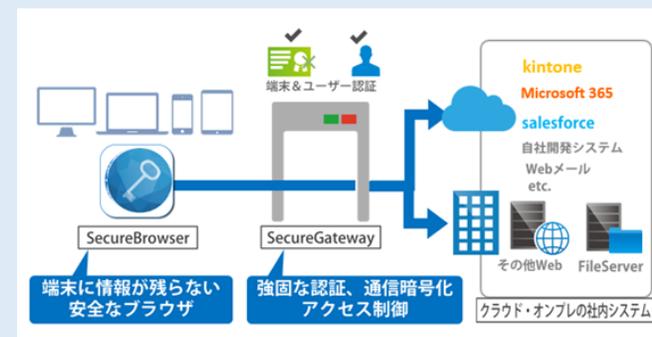


※ 出展「2004～2021ネットワークセキュリティビジネス調査総覧 デバイス認証ツール」富士キメラ総研

## SecureBrowser

- Web分離市場でのシェアは2位
- オンプレミスおよびクラウドにまたがった企業のWebシステムを、安全・シンプルに利用できるリモートアクセス製品
- クラウドアクセスのセキュリティ強化、端末からの情報漏洩の防止

自治体などのNW分離要件に対応



※ 出展 ITR Market View: エンドポイント/無害化/Web分離/CASB/CNAPP/SOAR/ZTNA市場2023

# 次期主力製品である『Soliton OneGate』

- 『Soliton OneGate』とは、デジタル証明書による多要素認証(MFA)でクラウドに点在する企業の情報資産を不正アクセスから守る、ID認証サービスです。

## 導入事例-①【豊田合成株式会社 様】

160社が利用する受発注システムのクラウド化に多要素認証を導入。  
サプライチェーンのセキュリティ強化を実現。

### 1 仕入先への研修実施が全ての始まり

#### リモート勉強会



・仕入先を含めたサイバー攻撃対策が重要

### 3 工場停止のリスク低減

#### 安定した生産体制に寄与

・円滑な部品供給による自動車の安定生産

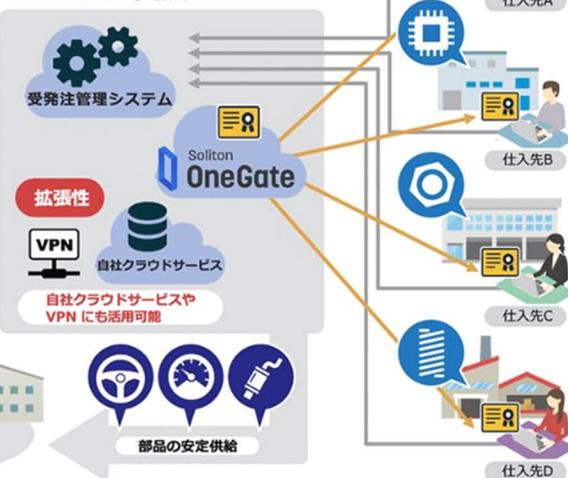


カーディーラーへ安定納車

### 2 多要素認証の提案・導入

#### 受発注管理システムをクラウド化

・単要素認証からの脱却  
・証明書の簡単導入、運用に強みを持つ「Soliton OneGate」を採用



#### 拡張性

VPN  
自社クラウドサービス  
自社クラウドサービスやVPNにも活用可能



部品の安定供給

### 導入前の課題

- 専用線を利用する自社開発の受発注システムが老朽化
- サイバーリスクの高まりを受け、サプライチェーン全体を包括した新たな認証が必要に
- 仕入れ先企業に負担をかけず新システムの利用を開始できる仕組みが必要に

### 導入後の効果

- インターネット回線を利用したクラウド型システムに刷新
- デジタル証明書を利用した多要素認証「Soliton OneGate」で接続端末を限定
- 充実のサポート機能で操作者のITリテラシーに依らないデジタル証明書の展開を実現

## 『Soliton OneGate』について

## 導入事例-②

## アイリスオーヤマ株式会社様



アイリスオーヤマ株式会社

所在地：宮城県仙台市青葉区五橋 2-12-1  
URL：https://www.irisohyama.co.jp/

アイリスオーヤマは、メーカーでありながら自社で開発機能を併せ持つ、メーカーベンダーの仕組みを確立し、顧客に合わせたニーズではなく、潜在的なニーズを掘り起こした“ユーザー負担”で「コト」に着目した商品開発を行い、お客様の快適な暮らしをサポートしています。日本で培ったアイデアを各国の生活様式に合わせて提案し、世界中で豊かな生活が送れるようにグローバル展開しています。



OneGateのデジタル証明書で  
国内数千名が利用するWi-Fi環境の安全性を大幅に強化

## 導入後の効果

- 強固なデジタル証明書認証の導入により、社内Wi-Fiの不正接続に対する防御力が大幅に向上
- 専用のソフトウェアにより、デジタル証明書だけでなくWi-Fiのプロファイルまで安全かつ簡単に展開
- 運用性の優れたクラウドサービスで、ユーザー増減にも柔軟に対応

## 導入事例-③

## 株式会社アルペン様



スポーツをもっと身近に  
株式会社アルペン

所在地：愛知県名古屋市中区丸の内二丁目  
9番40号 アルペン丸の内タワー  
URL：https://store.alpen-group.jp/

2022年に創業50周年を迎えた株式会社アルペンは、スポーツデジなどの総合スポーツショップやゴルフなどのゴルフ専門店、アウトドア専門店などを、全国に約400店舗を展開。“スポーツをもっと身近に”をパーパスに掲げ、誰もがスポーツを楽しみ、健康で充実した日常生活を送ることができる世界を目指している。



全国400店舗の顔認証をICカード認証にリプレース  
業務変革のスピードに追従可能な、連携性の高い認証基盤を整備

## 導入後の効果

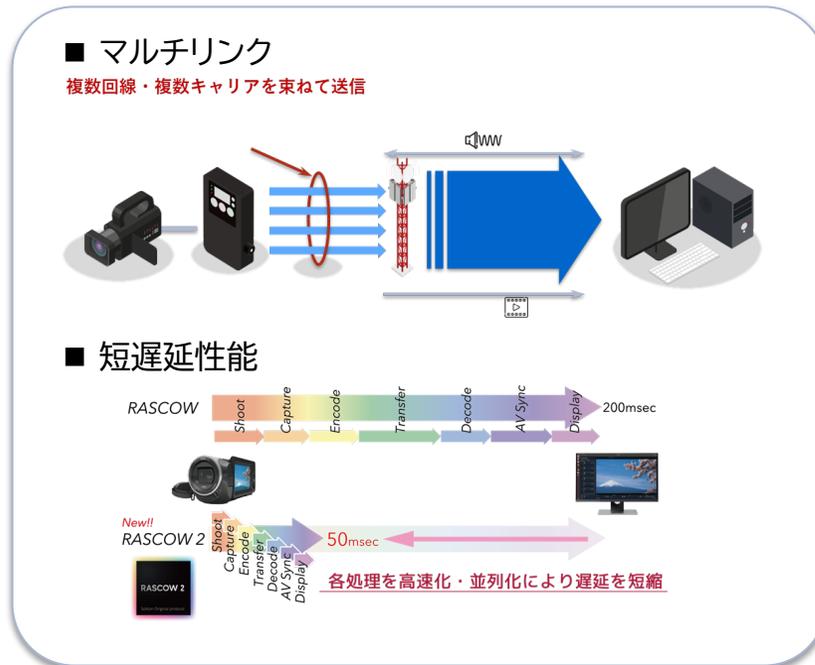
- Soliton OneGateでICカード認証を実現、店舗での認証不具合を解消
- 操作性と管理性も高く、ユーザーの追加削除などの対応効率が向上
- クラウドサービスのIDaaSを導入したことで、業務アプリの更新などのDXに対応できるように

# 事業トピックス（中間決算）

- 主力製品である映像伝送システム「Smart-telecasterシリーズ」は、国内外のパブリックセーフティ分野への販売が好調に推移しており、売上高は増収、セグメント利益を計上しました。また、当技術をベースに、自動運転車や建機等の遠隔監視・操縦を行う支援システムの開発を進めており、実用化に向けてメーカーや自治体、通信事業者等との実証実験が始まっています。

## 【Smart-telecasterシリーズの強み】

[製品]



- 不安定な通信環境下でも安定した伝送が可能(マルチリンク)。信頼性を重視するパブリックセーフティ分野を中心に、国内外で案件が増加。
- 自動車や建機等を遠隔地で監視・操縦するには短遅延性能が必須。DXや効率化の観点から、遠隔監視・操縦システムの導入を進める企業が拡大。導入に向けた実証実験が進められている。
- また、自動運転レベル4の実用化に向けた支援システムとして当社の遠隔システムを採用する自治体、企業が拡大。自動運転の支援システムのトップランナーとしてスタンダードを目指す。

# 事業トピックス（中間決算）

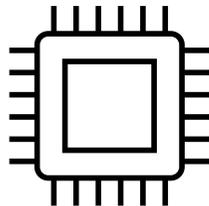
- 投資事業である、超低消費電力を実現するアナログエッジAIチップの開発については、試作品のリリースに向けて開発を加速させています。

## 半導体開発

### ◆ アナログエッジAIチップの開発

『超低消費電力を実現』

アナログ回路を使用することで、一般的なエッジAIチップと比較し、圧倒的な超低消費電力(数100 $\mu$ W以下)での推論と学習の高速処理を実現



## その他、半導体関連技術による取り組み

### ◆ SLIMのピンポイント着陸を支援

この度、2024年1月20日(土)に月面への着陸に成功した小型月着陸実証機SLIM (Smart Lander for Investigating Moon)のピンポイント着陸を支援したとして、JAXA(宇宙航空研究開発機構)より、感謝状をいただきました。



### ◆ LUPEXローバー向け宇宙用FPGA実装設計を支援

JAXAとインド宇宙研究機関(ISRO)が協働する「月極域探査機(LUPEX: Lunar Polar Exploration)プロジェクトにおける三菱重工業株式会社のLUPEXローバ開発において、当社はLUPEXローバ向け画像航法アルゴリズムの宇宙用FPGA(Field Programmable Gate Array)への実装設計を支援します。

# 会社概要

社名	株式会社ソリトンシステムズ(Soliton Systems K.K.)
本社	東京都新宿区新宿 2-4-3
設立	1979年3月1日
役員	代表取締役社長 鎌田 理
資本金	13億2,650万円
業績	売上高:190億円(2023年12月期・連結)
従業員数	659人(2023年12月31日現在・連結)
拠点	本社 ミライナタワーオフィス(東京都) 大阪営業所 札幌営業所 福岡営業所 名古屋営業所 東北営業所 開発分室(東京都) 長野開発分室 山形総合開発センター ロジスティックセンター
関係会社	索利通ネットワークシステム有限公司(中華人民共和国) Soliton Systems, Inc. Y Explorations, Inc. (米国) Soliton Systems Europe N.V. (オランダ) (株)Sound-FinTech その他1社
上場市場	東京証券取引所 プライム市場 証券コード 3040

# Soliton<sup>®</sup>

## 株式会社ソリトンシステムズ

【将来に関する記述等についてのご注意】

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する主旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。